

堺環境戦略の策定を踏まえた環境関連方針の改定について

(1) 堺市環境方針 ※別添参照

- 市の事務事業における環境保全に関する基本理念等について定めるもの。
- 堺環境戦略の実現に向けて、まずは市が率先的に取り組むべく、主に次のとおり改定。

<主な改定内容>

- ①「基本理念」について、堺環境戦略を踏まえた内容に修正
- ②基本方針「1. 温室効果ガスの削減」において、2050 年カーボンニュートラルの実現を見据えて取組を進めることを明記
- ③基本方針「2. 4R の推進による廃棄物の削減」において、ペーパーレス化の推進や不要となった紙類のリサイクルの徹底等を重点事項として記載

- また、環境方針改定と併せて、職員として確実に取り組むべき環境行動を示す、『職員の「堺環境戦略」アクション』を新たに作成。

(2) 堺市グリーン調達方針 ※環境都市推進部庁内 HP 参照

- 市の物品調達等におけるグリーン調達の推進について定めるもの。
※グリーン調達…物品及び役務について、その必要性を十分に考慮のうえ、品質や価格だけでなく、環境保全の観点も踏まえ、環境負荷ができる限り低減されたものを優先的に調達すること。
- 堺環境戦略の策定や、国のグリーン調達基本方針の改定を踏まえ、次のとおり改定。

<主な改定内容> ※①を除き、国のグリーン調達基本方針の改定内容と同様のもの。

- ①前文部分について、堺環境戦略を踏まえた内容に修正（「堺市環境方針」と整合）
- ②本市が重点的に調達を推進すべき環境物品等の種類（特定調達品目）に、テレワーク用ライセンス及び web 会議システムの 2 品目を追加
- ③特定調達品目の 1 つである「自動車」における、グリーン調達に該当するための基準（判断の基準）に関して、乗用車については「可能な限り電動車等（EV、FCV、PHV、HV）」、少なくとも次世代自動車（電動車等＋天然ガス自動車、クリーンディーゼル車）」に、乗用車以外については「可能な限り次世代自動車、少なくとも一定の燃費基準等を満たす自動車」に変更
※従来は、乗用車であっても、一定の燃費基準を満たすガソリン車はグリーン調達に該当することとしていたが、R3 年度以降は、電動車等又は次世代自動車でなければ、グリーン調達に該当しないこととなる。

堺市環境方針

《基本理念》

地球温暖化に伴う気候変動や海洋プラスチック問題、生物多様性の保全など、様々な環境問題が深刻化の一途を辿り、人類の生存基盤である地球環境は非常事態と言える危機に瀕しています。

これら環境問題を克服するためには、化石燃料への依存や大量生産・消費型の社会・経済システムの根本的な変革に加え、様々なルールや制度の構築、ビジネスモデルの転換や、個人の価値観・行動の変容が強く求められます。

堺市は、大規模事業者として、また公的機関として、自らの事務事業を対象に、堺市環境マネジメントシステム「S-EMS」を運用し、次の基本方針に掲げる取組を推進することにより、SDGsの達成に寄与し、堺環境戦略に掲げる「全ての人々が幸せに暮らす、持続可能な環境イノベーション都市」の実現に向けた全てのステークホルダーの取組をけん引します。

《基本方針》

1. 温室効果ガスの削減

- 2050年カーボンニュートラルの実現を見据え、公共施設の省エネルギー化や再生可能エネルギー・未利用エネルギーの導入、エコカーの導入等に率先的に取り組み、事務事業に伴う温室効果ガス排出量とエネルギーコストの削減を進めます。

2. 4Rの推進による廃棄物の削減

- Refuse（断る）、Reduce（減量する）、Reuse（繰り返し使う）、Recycle（再資源化する）の4Rを推進し、事務事業に伴う廃棄物の削減を進めます。
特に、次の事項について重点的に取り組みます。
 - ・ペーパーレス化を推進し、不要となった紙類についてはリサイクルを徹底します。
 - ・不要な容器包装の削減など、使い捨てプラスチックの率先的削減に取り組みます。

3. グリーン調達等の推進

- 物品等の調達に当たり、グリーン調達の推進や、電力調達における環境配慮契約に積極的に取り組むことで、環境負荷の低減や生物多様性への配慮を進めます。

4. 環境保全の推進

- 事務事業の実施に当たり、大気・水等に係る汚染物質の排出を規制する各種環境法規を遵守し、その他化学物質を適正に管理するなど、環境保全を進めます。

5. 率先した環境配慮行動の推進

- あらゆる事務事業において環境配慮を推進するため、全ての職員が常に高い環境意識を持って行動します。

上記取組状況については適切に把握し、継続的な改善を図ります。

この環境方針は全職員に周知徹底するとともに、庁内外に公表します。

令和3年4月22日

堺市長 永藤英機

職員の「堺環境戦略」アクション

それぞれの職場で、常に環境を意識して行動します

重点ポイント	確実に取り組むアクション
省エネの推進	○使用していない会議室や昼の休憩時など、不要な照明は消す。 ○外部との打ち合わせや会議には、WEB会議システムを積極的に利用する。
ペーパーレス化の推進	○印刷はできるだけしない。 （文書の電子決裁・電子供覧を徹底する） ○庁内の打ち合わせや報告はメールやチャットシステムを積極的に利用する。
使い捨てプラの削減	○レジ袋は購入せず、マイバッグを使用する。 ○マイボトルを使用する。